

平成 19 年度

子ども未来局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成19年度子ども未来局予算要求総括表・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 【一般会計】
 - 【特別会計】
- 2 平成19年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 予算要求の重点事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
 - (2) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ
 - (3) ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ
- 4 事務事業の見直し等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (1) 事務事業の見直し
 - (2) 受益者負担

1 平成19年度子ども未来局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成18年度 予 算 額 A | 平成19年度 要 求 額 B | 増 減額 B - A | 増減率 (B - A) / A |
|----------------|----------------------|----------------------|---------------|----------------------|
| 子ども育成部 | 3,410 (3,125) | 3,676 (3,371) | 266 (246) | 7.8% (7.9%) |
| 子育て支援部 | 39,090 (19,301) | 39,856 (19,529) | 766 (228) | 2.0% (1.0%) |
| 児童福祉総合セ ンター | 4,758 (2,243) | 4,280 (2,150) | 478 (93) | 10.0% (4.2%) |
| 合 計 | 47,258 (24,669) | 47,812 (25,050) | 554 (381) | 1.2% (1.5%) |

()内は一般財源額

【特別会計】

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成18年度 予 算 額 A | 平成19年度 要 求 額 B | 増 減額 B - A | 増減率 (B - A) / A |
|------------------|----------------------|----------------------|---------------|----------------------|
| 母子寡婦福祉資 金貸付会計 | 260 | 253 | 7 | 2.7% |

2 平成19年度予算要求にあたっての基本的考え方

子ども未来局では、「子どもの輝きがすべての市民を結ぶまち」を目指すために、「さっぽろ子ども未来プラン¹」に掲げる事業が着実に推進されるよう、予算編成を行う必要がある。

具体的には、すべての家庭が安心して子育てができるよう、区保育・子育て支援センターを開設するほか、保育所待機児童²の解消や延長保育事業などの多様な保育ニーズへの対応、子育てサロンの拡充を図るなどし、社会全体で子育て家庭を支え、子育て家庭が抱える様々な負担感を軽減する環境づくりを進めていく。

また、すべての子どもが持つ権利や自由が最大限に尊重される社会の実現を目指すため、市民が子どもの権利について正しく理解することを支援するとともに、子どもたちの成長に応じた参加型の体験活動機会を充実させることで、次代を担う心身ともにたくましい人づくりを目指す。

これらの事業を積極的に展開していくためには、相応の予算措置を講ずる必要があることから、事務的経費の削減に努めるとともに、庁内各局や区のほか、企業や関係諸団体との一層の連携を図り、より効果的、効率的な事業の実施に努める。

¹ さっぽろ子ども未来プラン：平成16年(2004年)9月に策定されたひとりの子どもが生まれ成長する過程を総合的に支援する対策への取組を促進するための総合計画。

² 保育所待機児童：認可保育所の入所を希望し、市に申込書を提出している子どものうち、入所要件を満たしているにもかかわらず入所できずにいる子ども。

1 少子化対策の推進

平成18年度に豊平区・西区・手稲区に開設した区保育・子育て支援センターを新たに東区に開設するほか、地域主体の子育てサロンの一層の拡充を図ることで、すべての子育て家庭を対象とした全市的な子育て支援の展開を図る。

保育所待機児童の解消を目指すとともに、延長保育、一時保育の実施か所数を拡大することで、増大・多様化する保育ニーズへの対応を図る。

子どもたちの放課後の居場所づくりを推進するために、小学生を対象とした小学校の余裕教室等を活用するミニ児童会館の整備を進めるとともに、中・高校生を対象とした児童会館の夜間開放を段階的に実施する。

少子化対策の一環として「働き方の見直し」をテーマとし、企業における両立支援の必要性や若者が少子化等の社会問題に関心をもつような啓発活動を実施する。

2 自立した市民に育てる教育の推進

市民が子どもの権利について正しく理解することを支援するとともに、子どもの意見を市の施設や事業等に反映させるなど、子どもの視点に立ったまちづくりを推進する。

子どもたちが自由な発想で企画した活動を自分たちの力で進めていく場（大志塾）を提供するほか、国際理解と健全育成を促進する「子どもワンダーランド事業」を各区単位で実施する。

3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

ひとり親家庭への支援を拡充することを目的に、就業支援や給付金の支給等を行うことで母子家庭等の経済的自立の促進を図り、ひとり親家庭の子どもに対しても、一般家庭の子どもと同様に福祉の充実を図るよう努める。

1 安心して働ける環境づくり

43百万円（44百万円）

注：（ ）内は18年度予算額

ア 母子寡婦福祉センター等運営（子育て支援部）

32百万円

母子家庭等の経済的な自立を促進するため、家庭の状況、経験、適性等に応じた就業相談や、技能・資格習得のための各種講習会の開催、職業紹介機関と連携した情報提供など総合的な就業支援を行う。

イ 母子家庭自立支援給付金事業（子育て支援部）

11百万円

母子家庭の母が、自主的に行う職業能力の開発を推進するために、指定した職業能力の開発のための講座を受講した者に対し、教育訓練終了後に給付金を支給するほか、保育士等の資格を目的として2年以上の養成期間で受講する場合に給付金を支給し、生活の負担の軽減を図り、資格取得を容易にすることを目的とする。

【成果指標】

| | | | |
|---------------|------|-----|-----|
| 教育訓練給付金給付件数 | 【目標】 | 20件 | 72件 |
| 高等技能訓練促進費給付件数 | 【目標】 | 74件 | 74件 |

(2) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

地域での子育て支援体制を充実させるため、平成18年度に豊平区・西区・手稲区に開設した区保育・子育て支援センターを新たに東区に開設するほか、保育所待機児童対策や多様なニーズに合わせた保育サービスの充実を図り、子育てと仕事などの両立を支援する取組を進めていく。

1 少子化対策の推進

1,716百万円(2,062百万円)

注:()内は18年度予算額

ア 地域主体の子育てサロン設置事業(子育て支援部)

9百万円【レベルアップ】

子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場(子育てサロン)を各地域に広げていくため、遊具や会場代、市民向け広報など立ち上げ準備等に必要なものを提供することで、住民が主体となった子育てサロンの活動を支援する。

【成果指標】

設置か所数

【目標】 102か所 169か所

【19年度効果】+15か所(累計169か所)

イ ミニ児童会館施設設備整備(子ども育成部)

318百万円【レベルアップ】

小学校区内に児童会館がなく、かつ、近隣の児童会館までの距離が遠く、児童クラブ等の利用希望者が多く見込まれる地域に、小学校の余裕教室等を活用したミニ児童会館を整備する。(40 52館)

【成果指標】

整備か所数

【目標】 32か所 52か所

【19年度効果】+12か所(累計52か所)

ウ 私立保育所新築費補助・私立保育所改築費補助・認可保育所整備促進事業(子育て支援部)

382百万円

保育所の新築・改築、認可外保育施設の認可保育所への移行の促進などにより、保育所待機児童の解消を目指して入所定員の拡充を進め、保育環境の改善を図る。(新設1か所、改築2か所、移行等による整備2か所)

【成果指標】

| | | | |
|----------|----------|-------|------|
| 保育所待機児童数 | 【目標】 | 307人 | 220人 |
| | 【19年度効果】 | -300人 | |

エ 延長保育事業費補助等・一時保育事業費補助等(子育て支援部)

1,001百万円【レベルアップ】

就労形態の多様化や育児に伴う心身の負担軽減など、子育て家庭の多様な保育需要に対応するため、「延長保育事業」、「一時保育事業」の実施か所数の拡大を図る。(延長保育事業146か所 157か所、一時保育事業63か所 72か所)

【成果指標】

| | | | |
|-----------|----------|-------|-------|
| 延長保育実施施設数 | 【目標】 | 141施設 | 157施設 |
| | 【19年度効果】 | +11施設 | |
| 一時保育実施施設数 | 【目標】 | 57施設 | 72施設 |
| | 【19年度効果】 | +9施設 | |

オ 少子化対策啓発事業(子ども育成部)

6百万円

少子化問題への関心を高め、社会全体で子どもの成長や子育てを支援する働きかけを行うため、「働き方の見直し」をテーマとして、企業における両立支援の必要性や若者が少子化等の社会問題に関心をもつような啓発活動を実施する。

(3) ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

子どもたちが心身ともに調和のとれた人間として成長し、他人を思いやる心や豊かな人間性を育むため、体験活動の参加機会を拡大するほか、札幌の未来を担う子ども一人ひとりの権利を保障するため、市民が子どもの権利について正しく理解することを支援する。

1 自立した市民に育てる教育の推進

6百万円(6百万円)

注:()内は18年度予算額

ア 大志塾運営事業(子ども育成部)

4百万円

サッポロさとらんど内の未整備地を会場に、子どもたちが、自由な発想で企画した活動をグループで協力して、自分たちの力で進めていく場を提供する。

イ 子どもワンダーランド事業(子ども育成部)

2百万円

外国からの留学生等との遊びを通じた体験交流により、互いの文化・習慣・考え方の違いを体験し、国際理解と健全育成を促進する事業を各区で実施する。

4 事務事業の総点検

(1) 事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額 9 百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法の見直しによる経費

節減

<見直し額 7 百万円>

サービス水準など

札幌市児童育成会運営員会補助

<見直し額 5 百万円>

民間施設方式児童育成会に対する助成項目整理による補助金を見直
する。

児童会館施設設備整備

<見直し額 5 百万円>

修繕計画の見直しを行い、施設設備整備を減額する。